

市政に生かします!

市民の声



陸の上にあるのに、なぜ「木之子島」と言うのですか」と質問をいただきました。

かつては笠岡湾内に浮かぶ小島だった「木之子島」。干拓事業により、木之子島のほかに、片島や神島も陸続きになり、現在に至っています。木之子島の呼称は、以前は島であったことの名残。現在も一部の地図などで表記されていますが、土地の表示については、現在の地名である「拓海町」が使われています。

また、市外の人からは、戦前の木造校舎の調査研究をしていて、「貫園講堂」（笠岡小学校敷地内）について詳しく知りたいとのEメールもいただきました。

そのほか、障害者にもやさしいまちづくり、環境問題、学校教育など幅広い分野で、ご意見・ご要望を、また、自主的な市民活動のPRやその活動への市長出席に対するお礼なども寄せられています。

皆様からいただく数々のEメールを見て、マウスを握る市長の手にも一段と力が入ります。

市長ホットメールに寄せられた主な声

市町村合併について

Q 浅口三町との合併研究会が解散されたと聞きます。今後、笠岡市はどういった方向を考えられるのでしょうか。

A 合併問題に関しては、これまで住民懇談会やアンケート調査などを通じて、多くの市民の方々の声をお聞きしてきました。そして、浅口三町との合併研究会を立ち上げ、合併に向けての調査・研究を行ってきました。

しかし、それぞれの町の事情や方針などにより、具体的協議には至らず、今年一月十五日に研究会は解散しました。こうした状況の中で、笠岡市の考えは、県が示した「単独」と合わせて、同時に合併については広く門戸を開放し、他町からの申し入れがあれば、互譲・相和の精神に立った対等な立場で、誠心誠意、協議を進めてまいります。

(担当:企画政策課)

指定ごみ袋について

Q 現在は指定ごみ袋については無償で支給されていますが、そのうち買うことになると聞きました。これは、今の世の中ある程度しかたがないと思いますが、その値段は周辺の町と比べて高いものとなっています。どうなるのでしょうか。

A 指定ごみ袋については、世帯人員などの一定条件の中で無料配布をしています。その配布枚数を超えた場合にのみ購入をお願いしているもので、周辺の町のように一枚目から購入するシステムとは、おのずと単価の差は出ています。この単価についても同様の制度を行っている都市を参考に値段設定を行いました。

今後、問題点を見直しながら、値段設定なども検討していく予定にしています。その時点でまた広報などを通じて、皆様にお知らせします。

(担当:環境課)

笠岡市のホームページ

<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/>

okayama.jp/

「市長Eメール」・「市長ホットメール」・「一階市長室さわやかサロン」など、市民の皆様からの建設的なご意見を数多くいただいています。そういった声を、今後の市政推進の参考にさせていただきます。

子どもなど「生の声」を聞かせていただいています。市内の人だけでなく、市外からの来庁者もおられます。先日は市外の人から「笠岡湾干拓地には、全国的にも珍しくあまり見られない鳥が飛来している。そういったものを情報発信するならば、ぜひお手伝いしたい。」といった声も聞かせていただきました。

一階市長室さわやかサロン

毎月一回、市役所一階ロビーで開設している「さわやかサロン」は、十五分〜二十分という限られた時間ですが、市長が直接面談し、市政に関する要望・提案などや情報提

市長Eメール

笠岡市のホームページから市長に直接Eメールが送信できます。

先日は、市内中学生から「笠岡湾干拓地にある木之子島は、